

# 消防団員になれば特別割引価格！

商工会と南アルプス市消防団は、消防団の団員確保を目指し、9月から団員限定のさまざまなサービスを開始した。商工会が募集した企業や商店が消防団員サポート店として各種サービスを提供し、サポート店にはステッカーなどが交付・掲示される。

消防団員は全国的に減少しており、南アルプス市でも合併した2003年度に756人だった団員が今年は733人に減少した。団員の任期は5〜6年だが、後任がいないと引退できず、勧誘しても引き受け手が見つからず、やむなく20年以上務める団員もいる。サラリーマン団員が8割以上となり、平日は活動しにくい地区も少なくない。

今回のサポートでは、飲食店では代金割引や大盛りサービスがあり、飲酒する時の送迎サービスもある。団員OBで居酒屋「和利館」を営む渡辺広さんは、団員を含む5人以上で来店すると焼酎のボトルをサービスする。ガ



ソリンスタンド「アルプスステーション」は、ガソリン1リットル当たり3円引きの団員料金を設けた。住宅改築の特別料金や、結婚披露宴など各種会合の料金値引きサービスも設定された。

「現在78事業所が参加し、特典は1年ごとに更新予定です。サポート店は社会貢献をアピールでき、特典での新たな顧客の確保につながるメリットがあるので、今後も加入を呼びかけていきます。地域ぐるみのサポートが新団員の確保につながるか、消防団からも期待されています」と商工会では話している。

## 孔子先生も食べた？新商品を展開



した新商品は、受験生が合格祈願に訪れる多久聖廟にちなんだレトルト「お受験かゆ」「お受験カレー」、特産女山大根を使ったアイスクリームの3品目。

開発までを商工会が担い、商品化は市内の飲食店や食品業者にレシピを提供して実現した。おかゆとカレーのレシピは、『論語』に記されている食事をヒントに、脳の働きを活性化させるブレンジアミノ酸を含む魚などを使った。

「グルメ&ダイニングショーでツイッターに書き込んでもらった感想を、今後の改良に生かしていきます。食を通じて情報発信し、観光の活性化にもつながりたい」と開発に関わった経営コンサルタントの松尾泰弘さんは話している。

商工会（飯盛康登会長）は、多久を全国に売り込もうと食品新商品の企画開発を進めている。9月7～10日の「グルメ&ダイニングスタイルショー」（於・東京ビッグサイト）に出展、来場者らにサンプルを配布して市場の感触などを探った。

国の全国展開支援事業の補助を受けて開発

### 三重県

玉城(たまき)町商工会女性部

## 地域との交流めざし「笑みの市」開く

商工会女性部（橋本京子部長）は9月1日、町商工会館で、高齢者の暮らしを応援する「笑みの市」を開いた。

買い物に行くことが難しい高齢者や一人暮らしの人などに会話のある楽しい買い物をしてもらい、地域の活性化に役立てようと実施した。

当日は飲食店や薬局、美容院など約25店舗が出店し、各店自慢の商品や限定販売の弁当、地元農家が作った米や野菜などを販売。手作

りパンやアクセサリ、化粧品など多数の商品が約2時間で完売した。白砂糖と黒砂糖の2種類の味の「だら焼き」のサービスマもあり、女性部会員と来場者が交流を深めた。

橋本部長は、「今後も月1回のペースで、12月まで月初めに開催する予定です。商店のおかみである女性部のメンバーと地元の人を顔合わせることで、横のつながりが生まれ、地域が明るくなると思います」と意気込んでいる。